

## 今年の夏は、長瀬で恐竜時代に出会う！

北川博道



アンモナイトの美しい殻装飾

### 長瀬に恐竜がやってくる！

博物館の目の前、長瀬岩畳に代表的にみられる三波川変成岩や武甲山に代表される秩父帯の岩石の多くは、実は中生代—恐竜のいた時代—にたまった砂や泥の堆積物です。これらの岩石たちが見ていたかもしれない当時の生き物を紹介する展示、特別展「恐竜時代～海と陸の支配



宝石のようなアンモナイト

者たち～」が今年6月スタートします。通常、2階の企画展示室で行っている企画展や特別展ですが、今回は企画展示室のみならず、オリエンテーションホールや地学展示ホールに、所狭しと中生代の生き物たちが登場します。

メイン会場のオリエンテーションホールには、アフリカで発見された全長約11mの草食恐竜、マラウィーサウルスや同じくアフリカから見つかった全長9mの肉食恐竜、アフロベナトールの全身骨格が登場。さらに、レプリカのみならず実物の恐竜化石も展示します。恐竜の大きさをぜひ、実際に見て、体感してください。地学展示ホールには、アジアに生息していた全長5mのガリミムスが展示されるほか、埼玉から見つかった恐竜時代の生き物の実物化石が展示されます。2階企画展示室には100点を超える多様なアンモナイトの実物化石をはじめ、恐竜と共存していた当時の海の生き物が